生活介護班③班食事会「コロナにカツ会」

2020.12.8(火)

生活介護班④班食事会

2020.12.17(木)

里だより

No.348
令和3年1月1日

—発行—
菊池郡大津町平川400番地
社会福祉法人 清和会
つくしの里
TEL 096-293-1550
FAX 096-293-1579

一月号もくじ

（ページ）
副施設長より・・・・・・・・1
サビ管より・・・・・・・・2
主任より・・・・・・・・3
職員より・調理場より・・・・4
サービス向上委員会より・研修報告・行事報告・・・5
行事予定・ありがとうございました・・7

副施設長より

「新春のお喜びを申し上げます」

昨年中は、格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございました。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年の里だよりを見返してみますと、新型コロナウイルス関連の内容が多く占めています。これは致し方ない事かと思いますが、今年は新型コロナウイルス以外の視野が広がる明るいニュースを載せたいものです。その為には、まず施設が健康であること。ウイルスを持ち込まないことが重要です。

当施設のスタッフは、出勤着と仕事着を分けています。当たり前だと思われるかもしれませんが、これは開設当初から「通勤途中で何かしらのトラブルがあった際に、第三者から見られても見苦しくなく、社会人としてふさわしい服装が、施設のイメージにも利用者さんへのイメージにもつながる。」との教えからでした。ふさわしい服装の線引きはなかなか難しいところですが、この出勤着と仕事着を分けることは、ウイルス持ち込み防止に一役買っているようです。

この他、現時点での取り組みとして、出勤時の検温の徹底と、職員へ一人一本携帯用のアルコール消毒液を配布し、こまめに消毒できるようにしています。出入りされるお客様にも検温と消毒をお願いしています。来客用も含め、事業所で使用する体温計は、非接触型のものに変えました。人が集まるスタッフルームや会議室などはアクリルのパーテーションで飛沫対策をし、加湿空気清浄器を設置。利用者さんが長時間過ごされる各活動棟等には、加湿空気清浄器及びオゾン・光触媒を用いた空気除菌装置を設置しました。物理的な面では、ひとまず安心できる体制にはなっていますが、導入したこれらの機器の維持管理が必要になります。利用者さん・職員が安心して生活・仕事が出来るためのものですので、大切に使用したいと思います。あとは、個人個人の日々の意識と心がけになってきます。

リスクレベル二だった昨年十一月にご家族との面談を行いました。お忙しい中、事業所まで足を運んでいただき誠に有り難うございました。全ての方とお会いすることは出来ませんでしたが、コロナ予防対策についてご協力をお願いしたところ、「この様な時期ですから仕方ありませんよ。」「施設で見て頂いてるので、逆に安心できています。」「職員さんの方が感染したらいけないと気を使われすぎていて大丈夫ですか。」と、多くの方から有難いお言葉を頂きました。また、ご家族とお会いされた利用者さんの嬉しそうな顔、ご家族が帰られた後に「今日〇〇が来たよ」「今度コロナが終わったら連れて帰るって。」と話された顔が忘れられません。今年は引き続き感染予防を徹底し、コロナが落ち着いた頃、同じ笑顔が見られることを目標にスタートします。

県が発表するコロナ感染者の職名に、私たちは「施設職員」と表記されます。施設職員は、社会に必要なエッセンシャルワーカーだと思います。それだけ重要な職務であるということを自覚し、進みます。

副施設長　松永 一博

サビ管より

あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルスの感染が拡大し、熊本県のリスクレベルが五になったことにより、年末年始の利用者さんの外泊が中止になりました。つくしの里始まって以来、全員で迎えるお正月です。外泊が出来なくなったことを惜しむ方もいらっしゃいましたが、三十一日の年越しそば、一日のおせち料理が励みになっているようです。なんとか皆さんで楽しいお正月を過ごせるようにと、季節に合わせたメニューを考えてくれる管理栄養士や、大晦日・元旦のグループホームの当直を志願してくれた担当職員、年末年始にも業務にあたる職員に感謝するばかりです。皆様も今年一年良い年でありますようにお祈りいたします。

さて、十一月の面談時に利用者満足度調査票を記入して頂きました。ご協力ありがとうございました。今回の調査では、結果を比較するために、平成三十年度末に実施した前回の調査と同じ質問を準備しました。

全二十一項目のうち、前回より良くなっていたのは十二項目、あまり変化がなかったのは九項目でした。悪くなっていた項目はありませんでした。

良くなっていた項目の内、「お知らせや掲示物は見やすいですか？」の質問については、今年度の重点取り組み課題で挙げていた「利用者さんへ分かりやすい説明をする」ということが実践できている結果ではないかと思います。絵や写真を使ったり、大きさや振り仮名などの工夫が出来てきたと思います。

また、「職員以外にも相談できることを知っていますか？」という質問についても、施設・後見人・家族情報交換会で第三者委員の方にご登壇頂き、皆様にご紹介出来た結果ではないかと思います。

その他、職員の接遇（挨拶・身だしなみ・言葉遣い・親切丁寧・介助の方法）なども良くなっているという結果でした。しかし、「言い方がきつい人がいる」「長袖下着がめくれたままになっている」、恥ずかしい思いをすることが「あります」等の記載もありました。

現在、令和三年度の事業計画を作成していますので、利用者満足度調査の結果をもっと分析し、次年度の計画に盛り込んでいきたいと思います。

ご家族の皆様には満足度調査の集計を同封致しますので、ご確認ください。三月の情報交換会で改めて説明致します。

今年も新型コロナウイルス感染症への対応が必要な一年になると思いますが、良い一年でありますようにお祈りいたします。

サービス管理責任者　木庭 由香

主任より

子育て

前回は父親になるという話を書きましたが、二ヶ月前に子どもが生まれて、無事に父親になる事ができました。毎日、仕事と子育てと様々な事がのしかかってきて、目が回る忙しさで毎日を過ごしています。しかし、子どもを見ると自然と笑みがこぼれ、赤ちゃん言葉になり、隙を見てほっぺにチューを繰り返しています。これが父親になるという事なのでしょうか。自分でも気味が悪いです。父親になってみて、これほど無条件で愛せる事に一番驚いています。

二ヶ月子育てを経験してみて、子育てと利用者支援って共通点が多いなと思う事がしばしばあります。

私の子どもはなかなか寝付けず、よくぐずって泣いています。先日は朝五時に起きて泣きだしました。お腹が空いたのかな？眠いのかな？寂しいのかな？と、原因を考えながらいろいろと試してみますが上手くいきません。三十分程格闘すると「ブッ」と音がして便が出ました。排便したら、たちまちスッキリとした顔でニコニコと笑っていました。原因は便が出ない不快感だったようです。

このような場面を利用者支援の中でも良く経験します。不快が問題行動として現れる場合です。原因はこれかな？あれかな？と考え、相談し、ベストだと思われるアプローチを試していきますが、そう上手く解決しません。利用者さんの気持ちをどうすれば理解できるのか悪戦苦闘する日々です。

このように、仕事と家庭で日々頭を悩ませています。人の気持ちを推測し、理解する事ってとても難しいです。しかし、この姿勢を相手も見てくれています。あきらめず、根気よくやっていく事で関係性が変化したり、意外な解決策が見つかったりする事もあります。これからもあきらめず根気よく利用者支援・子育てに努めたいと思います。

主任支援員　平田　雄一

今年も立派な門松が完成しました
みなさまの 2021 年が
良い年になりますように

職員より

11 月の面談で久しぶりにご家族と面会出来、とても嬉しそうにされていた利用者さん。お互いに体調面を心配される姿や、手を取り合って会話を楽しまれている姿を目にして、私まで感動した時間でした。

今年度は班のレクリエーション担当として、コロナ禍でも出来る活動を考えています。5 月の暖かい日には外でシャボン玉をしました。Mさんはとっても大喜びで、大きなシャボン玉を何度も作っていました。11 月には、産休に入るスタッフを励まそうと『神様からの贈り物』という本の読み聞かせをしました。皆さん真剣な眼差しで聞いて下さり、嬉しい 1 日でした。まだまだ大変な状況が続きますが、室内でも楽しめる行事で皆さんと楽しい年にしたいと思います。（支援員　穴井ル）

先日、利用者さんと館外強歩をしていた際、「コロナはまだとれんとね（治まらないのか）、はよ家に帰りたかー」との話が出てきました。今年の春から猛威を振るってきたコロナウイルス。感染症対策に伴い、職員や利用者さんの動きも昨年とは変わり、とめどなく訪れる変化に懸命に喰らいつきました。気がつけば、衣類は薄手のものから厚手のものへと変化し、時の流れの速さを実感しています。

利用者さんも家に帰りたくても帰れない歯がゆい思いをされている方がたくさんいらっしゃいます。一刻も早くワクチンの開発と普及が進み、国民全体に行き渡る事で、利用者さん方が安心して外出や外泊が出来る日が来ることを願うばかりです。（支援員　池田ト）

調理場より

今年度は月に 1 度、郷土料理を提供しています。日本だけでなく、フランスやイタリアのメニューの月もあります。8 月の嗜好調査では、長崎県の「トルコライス」が一番人気でしたよ。また、行事食担当が製作する掲示物がとても上手で、毎月のメニューに合わせて各地の食材や料理の紹介をしてくれます。おかげで利用者さんにも定着してきたようです。残り 3 回。1 月は佐賀県メニューです。2・3 月はこれから調理場スタッフと話し合って、利用者さんに満足していただける内容にしたいと思います。（管理栄養士　奈須）

サービス向上委員会より

■ **感染症**【主任支援員 松若・支援員 北島・井・山田】

例年この時期はインフルエンザや腸炎といった“はやり”の感染症が出てきますが、皆さんご存知のように今年は新型コロナウイルスの対応でバタバタです。毎日の消毒等のおかげで大きな病気にかかる方もおらず、今のところは皆さん健康に過ごされています。

委員会では、活動場所の消毒の依頼や汚物用バケツの設置、また利用者さんにはどぎゃん会を通じて手洗いの仕方、感染症の流行状況などを説明しています。いつ誰が罹ってもおかしくない“感染症”。特に今年は今まで以上に予防を図りながら、職員が感染しないように気を付けつつ、委員会としても感染予防につながる情報を周知したいと思います。

研修報告

※ 11／21(土)～12／20(日)に受講した研修について報告します。

◆ **刈払機講習【12 月 1 日（火）熊本県林業研究研修センター】**

実家で刈払機を使用する事がありましたが、単純に使用していただけなので、講義の内容は新鮮でした。実際に起こった事故事例を聞くと、何も考えずに使っていたら起こり得る事ばかりで、メンテナンスも工具一本で全て行える仕様になっており、意外と隅々までばらす事が出来る事に感動しました。

コロナの影響で間隔を空け、エア演習で数名のみの実践でしたが、新鮮な知識をたくさん学ぶ事が出来たので、今後も事故の無いよう細心の注意を払いながら、つくしの里で活かしていきたいと思います。　（支援員　松川）

行事報告

※ 11／21（土）～12／20（日）の実施分について報告いたします

★ **忘年会【12 月 3 日（木）つくしの里】**

昼食に「さつまいも十穀御飯」「照り焼きチキンとエビフライ」「豆腐の赤だし汁」「たくあん」「きんぴらごぼう」「野菜ジュース」を準備しました。例年だと忘年会では「鍋会」を実施していましたが、今年はコロナウイルスの影響を受け、ソーシャルディスタンスを保ち、このようなメニューとなりました。

食事前には、利用者さんに来年の抱負を語って頂き「来年は牛乳パックの解体作業を頑張ってたくさんお給料を貰います！」と働く意欲を見せられる姿も。コロナウイルスにより、利用者さんには外出が出来ない、鍋会が出来ない等、我慢をして頂いていますが、来年の忘年会では「やりたい事が出来た！」と振り返る事が出来るよう、最大限の支援をしていきたいと思います。

そして、皆さんの 2021 年が良い年になりますよに
お祈りしています。　（支援員 池田ト）

★ 生活介護班③班食事会【12 月 8 日（火）つくしの里】

「コロナにカツ会」と称して「とんかつ弁当」で食事会をしました。当初の予定ではハイキングに出かける予定でしたが、コロナ禍で実施することができず、このような形となりましたが、みなさんの美味しそうに食べられる姿を見られて、嬉しく思います。ゲン担ぎも出来ましたので、この調子でコロナに勝ち続けたいと思います。

来年度は 3 班の皆さんと一緒に外で思いっきり体を動かして楽しい外出にしたいと思います。

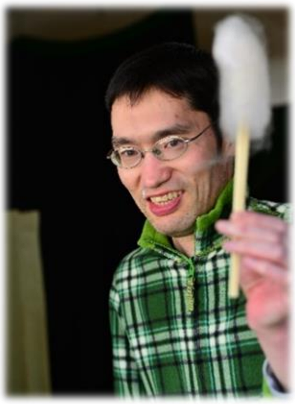
（支援員　松尾）

★ わたあめ会【12 月 14 日（月）つくしの里】

1 年ぶりのわたあめ会。新型コロナにより行事の中止が相次ぐ中、利用者さんの楽しみを少しでも増やしたいと思い、実施しました。

職員が各活動場所で「わたあめ」を作って回り、それを利用者さんが興味津々に見られ、楽しまれていました。食べられる姿は多種多様で、豪快に一口でペロリと食べられる方もいれば、少しずつ味わって食べられる方も。その姿に思わず笑顔が溢れました。まだまだ先が見えないコロナ禍ではありますが、今後も利用者さんに喜んで頂けるイベントを行いたいと思います。

（支援員　森）



★ 生活介護班④班食事会【12 月 17 日（木）つくしの里】

本来ならば 12 月 7・8 日に外出して食事を楽しむ予定でしたが、リスクレベルの関係で外出する事が出来なくなりました。本当に残念ですが、代わりに利用者さんは何を喜んでくれるのかを考え、「お寿司」で昼食会をする事に決めました。施設では生ものを提供する事はあまりない為、皆さん嬉しそうに食べている姿を見てとても安心しました。お寿司の他にも味噌汁やケーキバイキングを準備しました。T さんがケーキを選んで席に着くと、すごく嬉しそうに「やったー」と喜ばれる姿を見て、外出に行く事は出来なかったのですが、とても良い食事会になったのではないかと感じました。

今後もコロナの影響で外出が出来なくても、つくしの里で楽しめる様な行事を計画していきます。

（支援員　錦戸）

施設 PR 委員会　今月の１枚！

今月の１枚は１１月に入所されたばかりのＨさん。
生活介護班⑤班で箱折り作業をがんばっていらっしゃいます。
まだ不安もあるようですが、以前よりショートステイを利用されていたので、入所の皆さんとは顔馴染みで、すぐに班のメンバーにも溶け込んでおられます！

行事予定

☆ **生活介護班⑤班食事会（つくしの里）**

期　日：1 月 20 日（水）

内　容：　とんかつ弁当と和菓子で楽しい食事会にしたいと思います。

※お詫びとおことわり

里だより担当では、毎月十分注意して、記事の記載、確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら何卒ご容赦していただきたく存じます。

ありがとうございました

今月の掲載分は、
令和二年十一月二十一日〜
令和二年十二月二十日です

【ショートステイ・日中一時支援事業のご利用】
（七名　延べ　二十七日）
※リスクレベルの変動により、十二月三日から受け入れを中止しています。

【寄付・寄贈】
・浅山 愛郎 様　・井本 チカ子 様
・梅本 妙子 様　・緒方 和子 様
・緒方 朋子 様　・久保 昭憲 様
・後藤 弘子 様　・田上 至誠 様
・田上 修二 様　・古川 信子 様
・光永 順子 様　・渡辺 昭子 様
・向井 榮子 様　・佐藤 典子 様
・トキロロ 様　・長野歯科医院 様
・㈱小竹組 様　・㈲千石屋石油 様

【ボランティア】
・村里 和洋 様

誠にありがとうございました。
利用者さんの為に使用させて頂きます。